



PLUS ULTRA

富キャン Express

Vol. 19



～ The emblem of HAKUOH UNIVERSITY ～ (白鷗大学足利高校富田校舎広報)

The checker means five continents, the stripe means three oceans, and they express the posture that we'll have a good look at the world widely.

富田校舎開設30周年を迎えて

校長 岡部 宣男



富田校舎はこの3月で開設30周年を迎えました。そこで今回は富田校舎のこれまでの歴史についてお話しします。

富田校舎は、昭和59年(1984年)4月に当時の理事長、上岡嘉先生が足利学園高等学校・富田校舎として開設しました。当時は生徒・教職員の目指すべき道しるべとして「ブルスウルトラ(さらに向こうへ)」という言葉を示し、全学一丸となつての学校発展の途中にありました。その甲斐あつて、本校志願者の増加や部活動での活躍が顕著となりました。例えば硬式野球部の2度の甲子園出場や、女子ソフトボール部、柔道部、女子ソフトテニス部はインターハイ出場の常連となつていきました。そうした時代にあつて、理事長先生は更に進学実績の充実を目指すと共に大学進学を希求する時代の要請に応えるべく私学教育の特色を前面に打ち出し、徹底した学習による、特色ある生徒の教育を目指して富田校舎の開設を決意しまし

た。開設式には現天皇の従兄弟にあたる三笠宮寛仁殿下をお迎えし、殿下のテープカットでスタートしたことは本校にとり大変名誉なことでした。いつしか「富田校舎」は「富田キャンパス」として「富キャン」と親しまれて呼ばれるようになりました。

それまで進学コースは進学科として本校舎にありましたが、その進学科と新設の英語科から出発しました。当時では最新の私学ならではの設備であるLL教室「Language Laboratory」(言語実習室)を設けるなどしました。施設の充実はその後も図られ、昭和60年12月から平成元年までに2、3号館、体育館が完成しました。平成11年、平成16年には4、5号館、そして平成19年に従来の既成の学校建築といわれる言葉から思い浮かぶ姿と全く異なり、明るく、清潔で至る所に工夫の凝らされた斬新な6号館が完成しました。この校舎の落成式では当時白鷗大学教授で、現在プロ野球の北海道日本ハムファイターズの監督である栗山英樹氏による記念講演等が開かれました。

変更以降は特に進学実績を伸ばし、平成7年から14年までに東京大学へ5名の現役合格者を輩出し、近年では国公立大学合格者数は毎年50名を越え、時には100名に上るとした年もある程の皆さんが周知の進学校へと発展してきました。

この間世界も大きく変化し、急速な国際化の波の押し寄せる時代となりました。これからの若者には国際感覚に優れ、世界で活躍できる人間となつて欲しいという社会の要請、そのための育成が急務となりました。そうした時代の変化に応えられるよう富田キャンパスも英語教育の研究開発に力を入れてきました。平成14年にはそれが認められ、SELHi(Super English Language High school)の指定を受けることができました。また、交換留学、海外留学生の受け入れ、海外修学旅行等を積極的にに行い、アメリカのウイスコンシン州のマディソン・カントリー・デイ・スクールの始めとする海外3校と姉妹校の締結をしてきました。また、近年では本校の目指す理科教育が文科省に認められ、平成25年からはSSH(Super Science High school)の指定を受けることが出来ました。これにより現在SSHの数理講座や科学体験講座の授業を設け、こうした講座を受講した生徒から未来の世界に羽ばたく科学者、エンジニア、物作りのエキスパートが生まれることを期待しています。このように富田キャンパスの施設設備

を始め、教育内容と実績の向上が図られましたのも歴代の理事長先生や校長先生、本校教職員のご苦労、そして保護者の方々や卒業生のご支援・ご協力の賜物と感謝しています。

富田校舎 開設30周年記念式典



3月に富田校舎開設30周年記念式典及び記念講演会が盛大に行われました。



生徒・職員による人文字の練習風景



開設30周年の記念植樹



ガラス音モードによる演奏会

富田キャンパスへようこそ!

新入生の抱負

楽しい高校生活を
送っています!



特別選抜コース
1年1組
持田 崇史
(多々良中)

私は、高校生活への期待と不安を胸に富田キャンパスの門をくぐりました。新たに会う友人や先生方とたくさん思い出を作っていくことを楽しみにしています。さらに、進路実現に向けて勉強にも最大限の努力をすることを目標にしています。中学時代とは、授業の内容やスピード、課題の量がはるかに違い、今は毎日の予習や復習をこなすことが精一杯です。先輩方がこのように大変なことをこなしていたことを思うと尊敬の念を抱かずにはいられません。先輩方のように自分にもできるのかと不安ですが、早く高校生活に慣れ、この

キャンパスの一員として頑張っていきたいです。今自分でできる最善の努力をし、高校生を充実したものとしたいです。



特選1年1組 集合写真



特別選抜コース
1年2組
田村 美佑紀
(小山三中)

想い出を宝物にして中学時代に別れを告げた日から、高校生活に対して期待や不安で一杯でした。私の思い描く理想の自分は、挨拶や返事がきちんと出来る、思いやりがある、そして失敗を恐れずに常に前向きに頑張れる人です。高校生活を通して、理想の自分一步でも近づきたい、そう考えています。

入学して、そんな私の背中を押してくれる仲間や先生方に出会うことが出来ました。「ここ富田キャンパスでなら、きっと自分の夢を見つけられる」一心からそう思いました。「あの時こうしておけば良かった」と後悔しても後戻りは出来ません。だからこそ今しか出来ないこと、今やるべきことに全力投球し、人生で一度きりの高校生活を有意義に過ごしたいと思えます。



中高一貫教育コース
1年1組
堀 碧泉
(白鷺足利中)

私の将来の夢は、医師か歯科医になることです。小学生のころから思い描いていた夢なので、中部へ入学し、勉学に励むことを決めました。ただ、中高貫教育コースと進学教育コースのどちらに入学するか迷いましたが、中高貫



進学コース
1年2組
手塚 透子
(古河一中)

私は、これから充実した高校生活を送るために目標を立てました。二つ目は予習・復習をしっかりと行うということです。予習をして、授業で自分が分からないと思ったところをしっかりと聞き、復習をするということをして3年間しっかりと行いたいと考えています。大学受験に備え、1年生のうちから気を抜かずに日々努力していきたいです。

私は、継続して勉強するということがあり得意ではありません。中学生の頃は自分で目標を立てるといことがほとんどなく、目の前にある課題をやるのが勉強に積極的に取り組むことだと思っていました。しかし、それは間違っていました。「与えられた事」を行うだけでは、成績はもろろんのことと自分の成長にとってもあまりプラスにならないと感じるようになってきました。だから、自分で考えて「やるべき事」を行うことで、新たな一歩を踏み出せると思います。



進学コース
1年1組
木谷 詩音
(山辺中)

これから高校生活では自分で考えて行動することを常に心がけ、人として成長していきたいです。そして勉学も怠らず、仲間と切磋琢磨して頑張っていきたいと思っています。



進学コース
1年3組
福地 茜音
(足利北中)

新しい学校生活がはじまり、毎日ですがすがしい気持ちで登校しています。入学後は勉強で忙しい毎日ですが、私は勉強以外にも頑張りたいことが二つあります。一つ目は、部活動です。私は、バスケットボール部に入部しました。中学校の時とは違い、毎日遅くまで活動しているの

で、勉強時間が少なくなってしまうですが、自分で決めたことなので、3年生の先輩を見習い、最後まで文武両道を目指し、やりぬきたいと思っています。そして二つ目は、学校行事です。体育祭や合唱祭など様々な行事がありますが、どんな行事でもクラスの皆と協力して、優勝を目指し、クラスの絆を深めていきたいです。この生活に慣れるまで、まだ時間がかかると思いますが、3年間悔いのないよう、一生懸命頑張りたいと思います。



進学コース
1年4組
栗原 菜美
(館林一中)

私はこの3月に中学校を卒業したとき、高校生になるという実感があまり湧いてきませんでした。しかし、入学式の日に初めて制服に身を包み、学校に登校してみると、やっと高校生になったという自覚が生まれてきました。私は高校に入学して新しい自分になって、これから始まる3年間を、希望する進路を叶えるために一生懸命に努力しようと思えました。そして勉強の他にも富田キャンパスでたくさんの思い出を作りたいです。

また高校では中学校よりもはるかに勉強が難しかったり、進度が早かったりして、今までは異なり、慣れないことも多いですが、悔いの残らない3年間にしていきます。

新入生歓迎 球技大会

5月26日、富田校舎で新入生歓迎球技大会が行われました。豊かな自然の下、クラスの絆をより深めることができ、充実した1日となりました。

ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニスの4種目に分かれて競技が行われ、どの競技も白熱した試合が繰り広げられました。懸命に競技に取り組み生徒たちの生き生きとした表情がとても印象的でした。各競技の結果は下記の通りです。



真剣勝負で盛り上がった大会の様子



平成27年度 新入生歓迎球技大会(富田校舎)結果

		優勝	準優勝	第3位
ソフトボール		P2-2	P2-5	P1-3
バレーボール		P3-5	P3-2	P2-3
バスケットボール	男子	P3-3	P2-1	P2-5
	女子	P3-3	P3-1	TS3-1,3-2
ソフトテニス		P3-2	P3-3	TS3-1,3-2

マディソン・カントリー・ デイ・スクール 来校

6月10日から8日間、アメリカ合衆国のマディソン市より姉妹校のマディソン・カントリー・デイ・スクールの生徒8名が来校しました。4月末よりすでに来校していたドリュー・タウニー君と合流する形で本校訪問です。

マディソンの生徒は、本校生徒の家庭にホームステイしながら富田校舎へ登校し、様々な授業に参加しました。15日には本校舎を訪問し、総合選択コースの3年生と一緒に書道を学びました。さらには、企業訪問という事で、太田市富士重工業を訪問し、日本の高い技術に感動していました。日本文化を知ることがマディソン



すぐに打ち解けた両校の生徒たち

ン生徒の今回の大きな目標であり、本校内外で学んだことは、彼らにとって良い経験になるでしょう。



来校した生徒たちと記念撮影

新任職員紹介



小林 奈津美先生
(理科)

皆さんこんにちは。今年度から理科を担当している、小林奈津美(なつみ)です。今年の3月までは足利市内の中学校で勤務していました。中学校での勤務で学んだことは楽しむことの大切さです。生活をしていくうえで皆さんのつらいこと、大変なことがあると思います。その中に何か1つでも楽しさを見出し、取り組んでいくことを私は日々心掛けています。皆さんにも、勉強は大変だけど楽しい、と思ってもらえるよう努力していきたいと思えます。宜しくお願いします。



中島 隆行先生
(数学)

今年度から数学を担当している中島隆行(なかしま たかゆき)です。3月までは白鷺中学校に勤務しており、その前には富



熊本 恵子先生
(カウンセラー)

カウンセラーの熊本恵子(くまもと けいこ)です。4月から、毎週金曜日に富田キャンパスに来ています。校内でうろうろしている私に会って、あの人誰? と思ったでしょう。今回紹介していただき知名度がアップして嬉しです。カウンセリングルームには、気楽に来てください。カウンセラーには、守秘義務があります。安心して何でも話して、重い荷物を降ろしましょう。悩みだけでなく楽しかった事、うまくいった事などどんな事でも話してください。保健室で予約をしてください。富田校舎で非常勤講師として勤めていたので、久々の富田校舎での勤務になります。皆さんは元マラソン選手の有森裕子さんを知っていますか。オリンピックで銅メダルを獲得した後のインタビューで「自分を自分をもめたいと思います」とコメントを残し、流行語大賞にも選ばれました。皆さんが高校生活を振り返ったとき、「自分で自分をほめたい」と胸を張って言えるよう、全力でサポートしたいと思えます。これからよろしくお願います。



平成27年度
富田校舎 主な大学合格実績

国公立大学等 46名合格
私立大学 411名合格

東北大学	1名	白鷗大学	190名
お茶の水女子大学	1名	慶應義塾大学	2名
東京外国語大学	1名	早稲田大学	1名
千葉大学	1名	上智大学	6名
埼玉大学	1名	国際基督教大学	1名
群馬大学	10名	明治大学	6名
宇都宮大学	4名	青山学院大学	4名
茨城大学	2名	立教大学	9名
信州大学	1名	中央大学	12名
新潟大学	3名	法政大学	4名
山梨大学	2名	津田塾大学	6名
鹿児島大学	1名	東京女子大学	4名
横浜市立大学	1名	日本女子大学	1名
高崎経済大学	2名	明治学院大学	2名
群馬県立女子大学	7名	成蹊大学	1名
防衛大学校	1名	成城大学	2名
		國學院大學	1名
		芝浦工業大学	4名
		北里大学	2名
		日本大学	4名
		東洋大学	12名
		駒澤大学	2名
		武蔵大学	1名
		東京農業大学	4名
		獨協大学	7名
その他7名合格			

卒業生からの声

志望大学に見事合格した3人の卒業生が、高校生活の思い出について寄稿してくれました。



特別選抜コース
3年1組卒
川田 知果さん
(佐野北中)

東京外国語大学言語文化学部合格

振り返ってみると、高校3年間でどんなことにも全力で取り組んできた気がします。イベントがあまり好きではない私でしたが、何事にも一生懸命なクラスの皆に刺激を受け、富キャン祭・体育祭などが付いたらすべての行事を全力で取り組み、楽しむことが出来ました。また、勉強面では互いに得意な科目を教え合い、時には切磋琢磨し、高め合える仲間に出会えて、共に喜びや悔しさを分かち合いながら、受験勉強を乗り越えることが出来ました。

3年間はあっという間に過ぎてしまいます。高校での過ごし方で、今後の人生を良い方向に変えることが出来ます。悔いの残らないように、有意義な高校生活を過ごしてください。



進学コース
3年3組卒
早田 陽香さん
(白鷗足利中)

群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部合格

温かく見守り導いてくださった先生方や明るく何事にも全力で取り組むクラスメイトと過ごした日々は、私にとって何にも代えが

たい大切な思い出です。私は、資格取得や英語スピーチコンテスト、仏語暗唱大会への参加、富キャン祭の実行委員など様々なことに挑戦することを心掛けてきました。そのことを通じて、私の苦手としていたことを克服でき、進路に大いに役立つことになりました。コンテストへの参加は準備が大変で、学校の課題や試験もあつて毎日がとても忙しかったのですが、それも良い思い出です。一緒に大学受験を頑張る仲間、応援してくれる家族や先生方の存在が支えとなり、辛い時期もありましたが、無事合格することができました。



進学コース
3年5組卒
小島 耀太さん
(総和北中)

群馬大学理工学部合格

私には後輩の皆さんに伝えたいことが2つあります。まずは受験は一人ですものではない、ということ。一人で乗り切ろうとすれば必ず壁にぶつかります。いつでも周りに両親や先生、友達がいいます。私は何度も何度も周りに助けられました。皆さんも周りを助けてみてください、きっと心強く感じるはず。次に伝えたいことは授業を一番大切にすることです。最も重要なのは先生の話していることを聞き漏らさないことです。何気なく先生が話すことには多くの情報が詰まっています。それを聞き漏らさないためには教科書に書いてある事はさっさと予習すべきです。以上を心がけていけば必ず進路実現に結び付くと思います。頑張ってください。

新生徒会役員紹介

5月1日に、平成27年度後期生徒会役員認証式が行われ、新たに議長、副議長、書記の3人が認証されました。
平成27年度後期生徒会は次の通りです。

副会長	進 三十三	小川 将慶
会計	進 三十四	佐藤 司
会計監査	進 三十一	伊沢 拓真
会計監査	進 三十二	大木 瑠衣
会計監査	進 三十三	渡部 真樹
会計監査	進 三十四	七原 美優
会計監査	特選三十二	石原 樹羅
会計監査	進 二二一	兵藤 右京
会計監査	進 二二四	中里 護
会計監査	進 二二五	松尾龍之介
会計監査	進 二二五	仙波 未来
会計監査	特選二二一	茂木 睦樹
会計監査	特選二二一	小松原真寛
会計監査	特選二二一	橋本 紗希
会計監査	中高二二一	野村 侑里
議長	進 三二二	濱口 友佳
副議長	特選二二一	野木村美咲
書記	進 二二一	平川 萌

富キャンExpress vol.19題字の右側のカモメの口は富田キャンパス文芸イラスト同好会の生徒の作品です。お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。

編集 富キャンExpress係
発行 白鷗大学足利高等学校富田校舎
足利市多田木町1067
02884-9126333
発行 足利印刷株式会社
平成27年8月28日